

近事研

近畿 ねっとわーく

第67号

2018. 7. 24

～ 編集・発行 ～

近畿公立小中学校事務職員研究会

会長 藤井 明 美

所在地 神戸市立横尾小学校

神戸市須磨区横尾5-3

078-743-4511

<http://www.kinjiken.jp/>

平成30年度 単位研究会事業計画

大阪府公立学校事務研究会

1. 研究テーマ『学校のマネジメント力の向上を実現する学校事務職員の役割 -主体的に参画する学校マネジメント領域の事務実践-』

2. 各部の活動

研究部

今年度開催する府事研研究大会の研究報告にむけて、研究と準備を進めていきます。全事研京都大会で発表した大阪の学校事務のグランドデザインについて、法改正等の新たな動向を踏まえてさらに検討を続けて、より具体的な実践へとつなげていける研究を進めていきたいと考えています。

総務部

- (1) 研究会活動計画と具体運営計画
- (2) 関係機関、団体との連絡調整
- (3) 広報紙の発行
- (4) 事業推進に必要な調査統計
- (5) 本会の活動の記録保存 Web ページ <http://www.osaka-fujiken.jp/>



(大阪府の花 うめ)

研修部

- (1) 体系的研修制度の研究を行います。
- (2) 下記の日程で2回の現任者研修講座を企画します。アンケート内容の分析に努め、ニーズや今日的課題に即した内容となるよう企画するとともに、グループワークや事例演習を取り入れた参加型の講座となるよう工夫します。
- (3) 新規採用学校事務職員研修講座は、コミュニケーション力アップやチームワーク力アップをめざし、グループワークを取り入れた研修講座を企画・運営していきます。
- (4) ステップアップ研修講座を企画・運営していきます。今年度は、採用2年目を対象とした研修を1回行います。
- (5) 新規採用臨時的任用職員研修講座を開催します。

<現任者研修講座の予定>

- ・第73回研修講座 2018年(平成30年) 7月13日 アウィーナ大阪
- ・第74回研修講座 2018年(平成30年) 11月27日 アウィーナ大阪

<新規採用学校事務職員、ステップアップ研修・新規採用臨時的任用職員研修講座の予定>

- ・平成30年度 第1回新規採用学校事務職員、新規採用臨時的任用職員研修講座
2018年(平成30年) 6月22日 アウィーナ大阪
- ・平成30年度 ステップアップ研修講座(経験年数2年目対象)
2018年(平成30年) 10月18日 アウィーナ大阪
- ・平成30年度 第2回新規採用学校事務職員、新規採用臨時的任用職員研修講座
2019年(平成31年) 1月24日 アウィーナ大阪

3. 第27回研究大会

第27回大阪府公立学校事務研究大会を開催します。

- ・開催日 平成30年11月2日(金)
- ・会場 大阪市立阿倍野区民センター

京都市立学校事務研究会

本研究会では目指す学校事務職員像を明確にし、研究部・研修部・事務局・支部が連携しながら研究会活動を進めています。

1 目指す学校事務職員像

- 教育行政職としての専門性を活かし実践していく学校事務職員
- 学校のマネジメントを推進する学校事務職員
- 幅広い学校事務の領域と知見を持つ学校事務職員

2 活動方針

学校づくり

(1) 学校経営へ参画し、子どもたちの豊かな学びと育ちを支援する

人づくり

(2) 自己の職能開発や学校事務職員の資質向上を推進する

地域協働

(3) 地域とともにある学校づくりを支援する

次代へつなぐ

(4) 次代の学校事務を探究する



(京都市の花 つばき)

3 各部局活動方針

(1) 研究部

京都方式の「学校間連携」を検証し活性化させていくためにも、「学校間連携」の視点を常に持ちながら具体的な実践・研究を行っていきます。部会や様々な研修を通して、他府県や他校の制度、事例などについても幅広く学びながら、学校事務職員として目指す姿を探究し、一人ひとりの力を高めていく活動を目指します。4つの研究の柱を設定し、研究を進めていきます。①小中一貫教育 ②業務改善 ③リーダーの育成 ④地域協働

(2) 研修部

目指す学校事務職員像に向けて、事務職員が自己のキャリアに応じた力量を形成し、学校に必要な存在としての能力を向上させることを目指した研修の充実を図ります。また、校内での業務改善を進めていくために、効果的に活用できる資料の作成や現場での実践事例の検証など、教育行政職としての専門性を向上させる活動を行います。

①各部局・教育委員会と連携を図り、学校現場のニーズや標準職務に即した実務の力を身につけるための研修会を開催します。

②部会での討議（研修）を自校での実践に結びつけるため、各業務に関する法的根拠の研鑽など、事務職員としての専門性の向上を目指す取組を行います。

③若手事務職員の育成や、各自のキャリアに応じた力の育成の充実を図り、共に学び合える取組を行います。

(3) 事務局

庶務的事項・事業的事項・広報的事項・財務的事項についての事業を円滑に行うための活動をしています。充実した研究会活動を推進するため、各部や各支部等の連絡・調整を図ります。また、関係機関や他府県の研究団体等との連携を図り、会員に情報提供できるよう広報活動の充実に努めています。

4 研究大会の実施

平成30年度 京都市立学校事務研究大会の開催

創立70周年記念研究大会として開催します。

(1) 期 日 平成30年12月14日(金) 9:30(9:00受付開始)～16:45

(2) 場 所 京都市総合教育センター

(3) 日程・内容(案) 午前 研究部・研修部報告

午後 記念講演 ①演題「子どもを育てる家庭・学校・社会」(仮)

講師 α-MORNING KYOTO DJ 佐藤弘樹様

②パネルディスカッション

テーマ(未定)

<コーディネート>・京都産業大学 教授 西川信廣様

<パネリスト>・京都市教育委員会

・事務研究会



(京都市の花 つつじ)

滋賀県公立小中学校事務研究協議会

滋賀県公立小中学校事務研究協議会では、「創造しよう！教育を活かす学校事務を」を活動の基本方針として位置づけています。

研究部

「つかさどる」職としての事務職員の役割について、研究を進めていきます。学校長の示す教育目標の達成に向け、私たちがどのように関わることができるか、職務内容を整理し、制度と結びつけながら実証していきます。また、子どもたちの豊かな育ちを支援するために、共同実施や共同学校事務室をツールとして、どのように展開することができるか、県内の共同実施の現状把握と分析をしていきます。

研修部

子どもたちの豊かな育ちを支援するために、私たちにどのような力が必要となるのかを考える機会となるよう年間2回の研修講座を実施します。また、年間3回の初任者研修は、総合教育センター研修と合わせて体系化させたものになるよう努めるとともに、「学校事務の仕事」を滋事研web にアップしています。

広報部

広報紙「さざ波」を年間2回発行し、滋事研Web を定期的に更新しタイムリーな情報の提供に努めます。

「滋事研Web (<http://shijiken.com/>)」

事務局

滋事研web に掲載している「学校事務ハンドブック」等の内容更新に取り組みます。

「要覧しが」は、随時利用できるように滋事研 web に掲載し、「会員名簿」「ダイアリー2018」の編集・データ配布を行います。

第47回研究大会を開催します。

大会テーマ 「創造しよう！教育を活かす学校事務を」

サブテーマ - 「つかさどる」道を歩んで行くために-

1. 期 日 平成30年12月7日 (金)
2. 会 場 滋賀県立男女共同参画センター
3. 内 容 全体会・分科会 (役員会)

各学校における「カリキュラム・マネジメント」を実現していくためには、マネジメント、業務改善、地域連携へ展開できる学校組織を構築していく必要があります。今回の大会では、一日を通じてこれからの教育を当事者として語り合い、「つかさどる」職として確かな歩みにつなげて行きましょう。是非ご参加ください。



(滋賀県の花 シャクなげ)

神戸市立小学校事務研究会

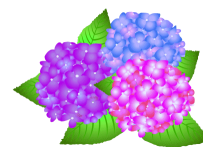
神戸市では、学校事務職員の新しい標準職務を規定するものとして平成30年4月1日に「神戸市立小・中・義務教育学校・特別支援学校事務職員の職務に関する基本要綱」が施行されました。学校事務職員が

主体的・積極的に参画する業務を第2条、全事務職員がつかさどる標準職務を第3条として規定する形となっています。新標準職務では、学校事務職員は「教頭とともに校長を補佐する重要な学校経営担当職員」であり、学校マネジメントに積極的に参画するという重要な位置づけが明文化されました。個業として新しく加わった業務には「校務支援システム(就学事務・成績等処理システム)による就学事務の管理・運営」や「学校基本調査」があり、神小事研では、これらを含む新標準職務を一人一人が具現化できることを目指して、研修を企画・実施します。

また、今年度から一部地域において「相互支援体制」が先行開始されました。中学校2校程度の校区グループ(小・中・義務教育・特別支援学校)をつくり、複数グループでブロックを形成しています。そして、グループごとにグループリーダー、ブロックにブロック長を置いています。この相互支援体制は、キャリアの差などを埋め、人材育成・学校事務の均質化・新標準職務の遂行などを目指すものであり、これまで神小事研が長らく担ってきた役割の一部も含んで発展していく見込みであることから、相乗効果的な関係となるよう、神小事研の活動の形等を見直しに取り組みます。

研究大会は、平成30年12月11日(火)に神戸市総合教育センターで一日開催いたします。

(神小事研ホームページ <http://www2.kobe-c.ed.jp/jimur-es/>)



(神戸市の花 あじさい)

奈良県公立小中学校事務研究会

奈良県では平成27年度に策定した学校事務グランドデザイン「すまいる 奈良」に基づき「カリキュラム」「マネジメント」における事務職員の役割について研究を進めています。その中

で「教員の事務負担軽減」や「業務改善」を推進する立役者としてリーダーシップをとるとともに、総務・財務に通じる専門性を生かして、より主体的・積極的に学校運営に参画することが「つかさどる」職としての役割を担うことにつながるのではないかと考えます。つまり、事務職員の職務が「従事する」から「つかさどる」へ変更されたことにより仕事の質が単なる定型的業務だけではなく、企画・立案・調整・判断を伴う非定型的業務を担うことも期待されており、チーム学校において実務系学校事務職員から企画系学校事務職員への変化が求められています。

さらに、一人一人の事務職員がジブンゴトとして学校の課題を整理するとともに、教職員や保護者、学校内外の関係者と連携し、課題を解決するための具体的な手法や会員の実践に結びつけていけるような仕組みづくりやシステムの構築に向けた取組を行うことが大切だと考えます。

そこで、本会では、研究主題「これからの学校経営を担う学校事務の探求」のもと、「子どもたちの笑顔あふれる学校づくり」のため、会員一人一人の「めざす事務職員像」実現に向けての活動を進めるとともに、関係機関等との連携を深め事業を計画・実施します。



(奈良県の花
ならやえざくら)

※学校事務グランドデザイン「すまいる 奈良」より抜粋

平成
27
・
28
年度

ネットワーク 地域との連携を推進する事務職員

平成
29
・
30
年度

学校情報 情報管理担当者としての役割を果たす事務職員

マネジメント 組織力を高めることのできる事務職員
説明責任を果たせる事務職員

カリキュラム 子どもたちの健やかな育成を支援する事務職員

学校評価 学校改善のための視点を持つ事務職員

研究会活動は「支部活動の充実・交流」と「専門部活動の充実を活動の柱としています。事業は、年間2回の研修会、新規採用事務職員フォローアップ、県校長会・教頭会・事務研究会合同会議を行っています。

また、平成30年11月30日、第45回研究大会を奈良県立教育研究所において開催し、研究部が発表を行います。

近事研サマーフォーラムのご案内

期 日 平成30年8月30日(木)
会 場 たかつガーデン 8階 たかつの間
〒543-0021 大阪市天王寺区東高津7-11 TEL: 06-6768-3911
日 程 13:00 13:15 13:40 14:35 14:45 16:15 16:20 17:00

受付	開会	単位研究会報告	調査研究部報告	休憩	全体研修会・講演	質疑	閉会
----	----	---------	---------	----	----------	----	----

全 体 会 調査研究部報告

全体研修会 講演会

- ・講師 文部科学省学校業務改善アドバイザー
新潟市教育委員会学校人事課 管理主事
金井 洋子 様

- ・演題 学校事務職員から学校経営職員へ
～新潟市の取組～

当日参加も可能です。
皆様のご参加をお待ち
しています。